

平成29年度 ICT活用モデル校実践 すぐに使える！ ICT機器を使用した授業が日常になる！ ～<タブレット画面>を<普通教室黒板>に投影しての「分かる授業」の実践～

本校に導入・設置されているICT機器の使い方とこれまでの実践や得られた効果を一部紹介しています。
接続は非常に簡単で、日常的にICT機器を活かした学習ができる環境が整っています。

準備は簡単

インターフェイスボックス

①インターフェイスボックスの右側面にある電源を入れます。



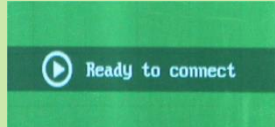
②正面のプロジェクターボタンを押します。



③プロジェクター本体の「ステータス」が点滅したことを確認します。

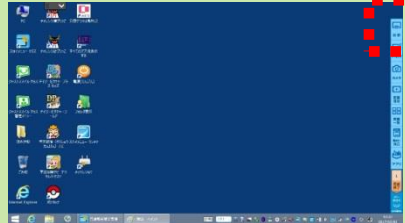


④「Ready to Connect」の画面になったら準備OKです。



教師機タブレット

①教師機の「スカイメニークラス」をタップしツールバーを表示させ「投影」をタップします。



②接続するプロジェクター・電子黒板を選択します。プロジェクター番号は、プロジェクター本体にシールではられています。



こんな活用ができます

- ☆タブレットを手に持ち、移動・指導しながらプロジェクターに投影できる
- ☆機器設置の準備不要で、外国語などの<デジタル教材>を大画面で投影できる
- ☆<デジタル教科書>で学習している教科書のページや資料、付属のコンテンツを提示する
- ☆タブレット画面を見せながら、児童機での個別指導ができる
- ☆タブレットをデジタルカメラとして使い、撮影した写真を投影する
- ☆タブレットを実物投影機として使い、カメラの画像を投影する
- ☆タブレットをビデオカメラとして使い、撮影した画像を投影する
- ☆タブレットにあらかじめ画像資料を用意し、投影する
- ☆タブレットをコンピュータとして使い、プレゼン資料を投影する
- ☆タブレットでWEBサイトにアクセスし、情報を提示・投影したり、授業に活用したいする
 - ▷分からない言葉(外国語も含む)・用語を検索し、説明する
 - ▷必要な資料をその場で検索し、提示する
 - ▷<NHKforSCHOOL>などの動画を視聴する
- ☆<学習支援ソフト>で、教師機と児童機をネットワーク接続させて…
 - ▷教師機で全児童機を把握する
 - ▷児童機画面の学習経過・活動内容・進捗状況を投影する

授業が変わる 「分かる授業」になる

白鳥小学校のICT機器活用の様子

興味・関心を高めるために
意欲付け



算数
デジタル教科書(算数)で

関心を高める



社会
デジタル教科書(社会)で

感動を与える



理科
WEBサイトの動画
NHKforSCHOOLから

課題を明確につかませるために
学習課題を把握させる



外国語
外国語付属デジタル教材で

改善点・工夫点に気付かせる



自分で気付く
児童相互で撮影した動画から
体育

ねらいを把握させる



国語
教科書資料を投影して

考え方を共有する



書写
書写教科書付属デジタル教材で

関係づけて考察する



総合的な学習
WEBサイトで

多様な見方からまとめる



学級活動
記録静止画・動画で

わかりやすく説明したり、思考や理解を深めたりするために

連続性・関連性を
意識させて表現させる



分類・整理させる
理科
児童のワークシートを投影して

正しい使い方を示す



家庭
デジタル教材<動画>で
～家庭科「玉結び」の方法～

手順を理解させる



算数
デジタル教科書(算数)で

特徴を理解させる



図画工作
取り込んだ資料を投影して

働きを理解したり
効果・成果を表現したりさせる



理科
児童のワークシートを投影して

知識の定着を図るために



個に合わせた学習
アプリで

繰り返し学習

児童が教材を身近に感じられ、主体的な参加が期待できる 教師機材のメリットとプロジェクターの活用効果のまとめ

～外国語活動「HI! FRIENDS」での活用から～

焦点化



マーキングしたり、拡大・縮小したりして、学習課題・学習問題を焦点化できる。

共有化



児童が離席しなくてもタブレットを通して教室全体に考え・思いを伝えられる。

意欲の向上



先生も児童も分かりやすく説明ができ、意欲的に説明しようとする児童が多く見られる。

明確化



教科書と同じものが投影され、多言語の学習でも、視覚的に分かりやすい。

逼真性



ネイティブな発音が聞け、その国の人や文化を知り雰囲気についても感じ取ることができる。

即時性



分からないことはすぐにWEBで調べたり、ネットワーク上の資料を見せたりできる。

操作性



タブレットを持ち歩いて教室内を移動できるのでどこからでも操作が可能。

具体性



プロジェクターから出力される動画をはじめとした視覚情報と音声で、「分かる授業」になる。

主体性



動きのある映像から児童が自然に身振り・手振りがついてくる。

利便性

機器を移動・設置する必要がないので、教室移動をしなくても済み、特別教室を準備する必要がない。

機器の使用について、他の学級と調整する必要もない。準備を短縮することができる。



日常的

日常生活にあるものを外国語で表現できる。特別な場所でも日常の生活の場で外国語の学習ができるため、英語学習が特別なものではなく、身近な学習になる。